

筆者は浜正彦氏とともに、1982年4月11日に下條村阿知原で落ち葉の間より羽化殻を見つけた事がある。この時も羽化直後の成虫を目撃したことで付近を探し見だしたものである。

野外での蛹化場所に関する報告はあまりなく、近くの例として、泰阜村で1993年と1994年に木下美恵子、ひろみ親子が蛹化場所を発見(野牧・木下, 1995)がある。「枯れ葉の裏でじっとしているのを見つけた」とされているがそれ以上の記述はない。その他に地面に半分埋もれた切り株の側面・コケのなかなど(多賀, 2000), 石の下側(夏秋, 1988; 竹内, 1999, 2008), ササの一種の地下茎についた例, マツの樹皮と樹皮の間についた例(難波ほか, 1989)など数例が知られている。

引用文献

- 難波通孝・三宅誠治・吉田善夫, 1989, 生態写真集ギフチョウを追って - 岡山県苫田郡奥津町における観察記録 -, 丸善.
- 夏秋優, 1988, ギフチョウの蛹化場所2例. 蝶研フィールド, 3 (4), 5-8.
- 野牧君夫・木下ひとみ, 1995, 長野県天龍村のギフチョウ. 昆虫と自然, 30 (4), 16-22.
- 多賀敏正, 2000, ギフチョウの蛹化場所の3例. 三重のメモ蝶, 33, 4.
- 竹内隆, 1999, ギフチョウの羽化をビデオ撮影. 月刊むし, 355, 12-13.
- 竹内隆, 2008, 野外におけるギフチョウの羽化観察. 月刊むし, 446, 18-21.

(いはら みちお/〒395-0004 飯田市上郷黒田571)

飯田市美術博物館でミスジチョウを確認

四方圭一郎

飯田市美術博物館は、飯田市の市街地に位置するが、この地域特有の段丘地形により、市街地周辺にも段丘の崖線部に成立した自然林が分布し、比較的豊かな自然環境が保たれているのが特徴である。これまでも興味深い種を四方(2004, 2005)で記録したが、新たにミスジチョウの発生を確認したので記録しておく。

ミスジチョウ 1幼虫, 10. III. 2009 (図1)

美術博物館に隣接する長野県消費生活センターの裏庭に植栽されたカエデで、越冬幼虫を発見した。この幼虫は越冬後も順調に生育して4月下旬に蛹化し、6月には羽化殻を確認した。

飯田市周辺においては、ミスジチョウは山麓部分以外で見かけることは少なく、このような市街地での発生確認は珍しい例だといえる。



図1 越冬中のミスジチョウの幼虫(ア)

引用文献

- 四方圭一郎, 2004, 飯田市美術博物館周辺で確認した昆虫類(鱗翅目・甲虫目). 伊那谷自然史論集, 5, 96.
- 四方圭一郎, 2005, 飯田市美術博物館敷地内で観察したチョウ類. 伊那谷自然史論集, 6, 151.

(しかた けいいちろう/飯田市美術博物館)